

こども達の熱い2日間を振り返ります！ 羽越水害40年行事 最上川こども交流会を実施しました。



次世代を担う子ども達が、様々な見学や体験を通じて羽越水害のもたらした被害や教訓を知り、水害から人や街をまもる術について学ぶ体験型の交流会を実施しました。

■実施日時

平成19年7月28日(土)～29日(日)

■こども交流会参加者

流域内の小学校5年生から中学校2年生までの30名。

出発式⇒水辺の楽校体験

米沢市 窪田地区

1日目

水辺の楽校で出発式を行い、多自然型河川整備や床固め事業について学習しました。

■協力者：窪田地区協議会

子供達は晴天の中、意気揚々と出発式です。

今日始めて会う顔ぶれに、少々緊張気味？

それでも、山形の母なる川・最上川を小さな体で丸ごと体験しちやおうとやる気満々です。



宮崎地区の河川改修・災害対策車の学習

南陽市 宮崎地区水防倉庫

水害経験者に最上川の水害についての説明を受け、南陽市宮崎地区を見学。災害対策車の見学も行いました。

■協力者：前川西町長 高橋和男氏

宮崎地区の治水事業・水害体験の講話を聞いた後は、災害対策車の実演体験です。排水ポンプ車・照明車・除草車とはたらく車がいっぱいです。



羽越水害の学習

長井市 野川まなび館

羽越水害についての体験談や、自主防災活動の必要性や取り組み事例について学習し、野川まなび館を見学しました。

■協力者：野川まなび館スタッフ



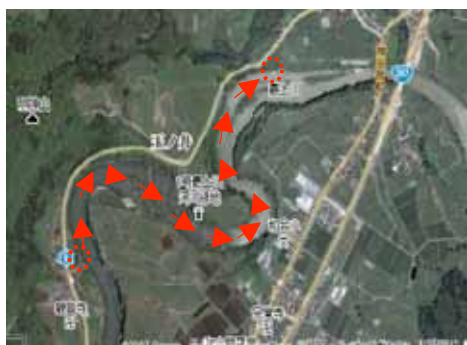
長井ダムの工事現場を見学し、ダムの役割を学習しました。



ゴムボートに乗船し、周辺の川の様子観察し、水の勢いを体感しました。

■協力者：山形カヌークラブ 朝日町

さあ、子供達がやってきたのは、朝日町のカヌーランドです。
水の勢いと川の怖さを体験するために子供達はゴムボートで最上川を下ります。
水しぶきでびしょ濡りになりながら、子供達なりに川の凄さを体験したようでした！



操作室見学→夕食

最上川ダム統合管理事務所

降雨体験装置を体験したあと、管理所内操作室で、ダムの役割や施設の操作などについての説明を受けました。そして、きき水体験も行いました。



花火大会→帰路

西川町 寒河江ダム

森と湖に親しむ旬間全国行事の花火大会を観覧し、帰路に着きました。

一日目の最後を飾るのは、寒河江ダムの堤体から見る、湖上花火大会。
真夏の夜空と月山湖に浮かび上がる花火が幻想的な世界を作り出します。
自然と文化の融合。その素晴らしさにおもわず拍手デス！
交流会に同行したYBCの竹内アナも、すっかり童心にかえって子供達の一員になってます。
笑顔が何よりの宝物ですね！



入浴→就寝

中山町 ひまわり温泉ゆらら

一日目のすべての行程が終わった子供達、
中山町のひまわり温泉ゆららでお泊まりです。
ひとつ風呂浴びたあとは、自分たちが一日勉強した、
羽越水害40年の巡回パネル展を見ていましたよ。



2日目

水防体験

中山町防災ステーションそば

水防専門家の指導のもと、地元水防団とともに水防活動体験を行いました。

■協力者：水防専門家(佐藤努氏)、防災エキスパート(宮内利夫氏)、中山町消防団



まずは、縄結び学習。もやい結びとおとこ結びを学びました。あ〜でもない、こ〜でもない悪戦苦闘。上手くできた人は、お友達に一生懸命アドバイスしてました！



続いては、土嚢(どのう)積み体験。大人でも運ぶのが大変な土嚢を次々と運ぶ子供達。頼もしいです！



みんなの努力で、見事に完成！こうやって災害時に堤防をかさ上げするんだ。



水防体験・炊き出し訓練

中山町 防災ステーション

おにぎりや味噌汁などの緊急時の炊き出し体験を行いました。

■協力者：中山町食生活改善推進協議会



そして、働いた後は、おいしいご飯タイム！ここでも子供達は、中山町食生活改善推進協議会の皆さんと炊き出し体験。おにぎり、上手に作れるかな？



もちろん、出来上がったおにぎりは、みんなでいただきます。中山町食生活改善推進協議会の皆さんが作ってくれた、お味噌汁と一緒にごちそうさあ〜！

船上体験

村山市 基点(三難所舟下り)

村山市基点地区の三難所舟下りに乗船する。地区の日本三大急流最上川で、松尾芭蕉や斎藤茂吉が詠んだ舟の三難所、基点・隼・三ヶ瀬を舟下り、最上川の歴史を学びました。



洪水調整施設の学習

村山市 大旦川学習館

学習室に入り、ジオラマを見ながら大久保遊水地について学習しました。また、最上川の歴史・文化について話をいただきました。

■協力者：村山市(松田誠一郎氏 農業・大久保歴史研究会会長・大久保老人クラブ連合会会長)



意見発表会・とりまとめ・解散式

村山市 大旦川学習館

河川学習室に集まり、今回の子ども交流会についての感想を発表しあい、「最上川体験ノート」を完成させる。災害時やこれに備えるために自分たちでどうしなければならないかについての意見交換を行いました。このあと、解散式を行いました。

子供達は、この二日間の最上川子ども交流会で学んだこと・感想を発表しあい、「最上川体験ノート」を完成させます。そして、各班ごとに災害を防ぐ、そして災害から身を守るためにできることを、「自助」「共助」「公助」の観点からまとめて発表しました。



自分の住むところを調べてみようと思った。

楽しかった

思い出になった

この体験をみんなに伝えたい

友達が増えた

来年も参加したい